

令和2年度学校自己評価システムシート (県立越谷総合技術高等学校)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	社会に貢献する産業人材を育成するために、自ら進んで学ぶ礼儀正しい生徒を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢を育て、生徒一人一人の学力を向上させる。 規範意識を高める指導を推進し、豊かな人間性を持った生徒を育てる。 キャリア教育の充実により、進路に対する意識を高め、希望する進路を実現する。 地域等との連携と積極的な情報発信により、本校教育への理解を深める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	学習について努力をする生徒がいる一方、学習習慣が確立していない生徒も見受けられる。また、基礎学力の低下により、その上に成り立つ専門知識の習得が難しい。 資格取得や課題に取り組む生徒が多く、そのサポートを組織立てて行う必要がある。 学力や技術力以外に求められる能力としてコミュニケーション能力があり、これを充実させることも産業人材の育成という観点から重要である。	①主体的に学ぶ習慣を身に付けさせるとともに、基礎学力を充実させる。	①朝読書の時間を曜日によって分け、基礎学力の定着のための学習の時間を設ける。	①家庭学習や朝学習、補習に積極的に取り組む生徒は増えたか。			
		②学習面における生徒へのサポートを、教科・学科間で連携を取りつつ行う。	①考査1週間前の期間に設けた補講週間を、教科、学科で共通理解を図り実施する。 ②補講週間の内容をまとめ、事前に生徒に周知する。	①授業において理解できていない内容について、受講および質問に来る生徒が増えたか。 ②補講週間を活用し、計画的に学習に取り組む生徒は増えたか。			
2	規範意識のある生徒が多く、学校周辺での交通事故は減少している。校内は整理整頓され規律ある学校生活を送っている生徒が多い。しかし、ネット関係での問題や、家庭・学校での人間関係に悩む生徒が多い。 部活動の活性化と交通意識の徹底と適切な状況判断の育成が課題である。	①安心安全な学校づくりのための教育環境を充実させる。	①ネットセキュリティ講演会・情報セキュリティ講演会を実施し、心配な生徒情報の共有化を図る。 ②部活動の参加を促す工夫をして、人間関係を構築し、規律・礼儀・忍耐力を高める。 ③通学路での立哨指導を継続する。交通安全に関する講演会を実施し、適切な状況判断力と、対応力を育成する。また、次年度に向けて、事故対応マニュアルカード等の準備をする。	①ネットモラルに関わる生徒指導件数は減少したか。 ②部活動への加入状況と活動実績の割合は高いか(加入率を1年間減少させない)。 ③前年度より交通事故件数の減少は達成できたか。			
			②進学希望者の満足度において前年度を上回る。	①企業訪問の回数、訪問企業数を増やし、新規開拓も行う。 ②ミスマッチのないように、生徒との個別相談、学年、担任との情報共有に努める。	①就職希望者の満足度は増加したか。		
3	昨年度の就職指導に関する満足度は94%であった。例年並みであるが、引き続き、満足度を維持し、ミスマッチを防ぐ指導を行っていく。また、オリンピックの延期や新型コロナウイルスによる経済状況の影響が、求人によどのように反映するのか、しっかりと見守りたい。 進学に関しては、満足度を上げるとともに、夏季休業中の進学指導を充実させる。	①就職希望者の満足度において前年度を上回る。	①企業訪問の回数、訪問企業数を増やし、新規開拓も行う。 ②ミスマッチのないように、生徒との個別相談、学年、担任との情報共有に努める。	①就職希望者の満足度は増加したか。			
		②進学希望者の満足度において前年度を上回る。	①長期休業中に進学者登校日を設定し、進学に関する相談等を行う。 ②夏季休業中に自習室を設け、受験対策を行う。	①進学希望者の満足度は増加したか。			
4	ホームページを通して本校の教育活動を発信し中学校等に広く理解してもらっているが、更なる工夫が必要である。 学校説明会等の内容を検討、充実させるとともに、ホームページのスマートフォンへの対応を検討して本校の活動をより多くの人に見やすく発信し生徒募集につなげることが課題である。	①情報発信の内容を見直し、より魅力のあるホームページを構築する。	①ホームページを見やすく整理するとともに、スマートフォンへの対応を進める。 ②部活動の成績や各学科のコンテスト、競技会の結果を発信し学校の活動をアピールする。	①保護者アンケートの結果において、ホームページの満足度が増加したか(昨年度比10%増)。			
		②一日体験入学や学校説明会の開催日を見直し、中学生や保護者の参加を促す。	①学科の特色を生かし地域の行事に積極的に参加する。 ②小中学校を対象にした講座やコンテスト開催するとともに出前授業に積極的に対応し本校の魅力を発信する。	①地域行事参加の実施数は増加したか。 ②体験入学や講座等参加者は増加したか(前年度比5%増)。			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		